作成日：2025 年 1 月 24 日（第 4 版）

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学　放射線医学県民健康管理センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020 年 11 月　放射線医学県民健康管理センター
センター長　安村誠司

【研究課題名】基本調査による被ばく線量の推計評価と社会心理的因子及び生活習慣との関連についての疫学研究：福島県「県民健康調査」

【研究期間】2020 年 11 月（倫理審査承認後）～2030 年 3 月

【研究の意義・目的】
福島県では、東日本大震災後の県民の健康管理の指針を得るために、県民健康調査を実施している。県民健康調査によって得られるデータは、県民の健康管理の指針を策定するための重要な情報源となっています。全県民の不安解消や、今後、長期にわたる県民の健康管理のための基礎資料を得るため、先行調査の対象地域（浪江町、飯館村、川俣町山木屋地区）の住民及び 2011 年 3 月 11 日時点で県内に居住している住民を対象として、行動記録調査による推計被ばく線量の推定評価を行い、個人レベルでの推計被ばく線量を推定することを目的として、県民健康調査の「福島第一原子力発電所の事故に伴う福島県居住者の外部被ばく量推定のための問診票調査」（以下、基本調査）を実施し、平成３０年３月３１日現在、対象者 2,026,097 人のうち 550,580 人から回答がありました。県民健康調査の「こころの健康度・生活習慣に関する調査」では東日本大震災後の東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難を余儀なくされた住民においては、仮設住宅への入居、見知らぬ土地での生活等により、運動不足、食生活の変化、社会心理的ストレスの増大等がおこり、生活習慣病の頻度が増加する可能性が指摘されています。また、避難地区住民以外においても放射線の影響の不安から外出を控えたり、食生活が変化したりしたこと生活習慣病に影響していることが明らかになっています。

本研究の目的は、以下のとおりです。
「こころの健康度・生活習慣に関する調査」に含まれる社会心理的因子及び生活習慣等と、「基本調査」で得られた推計被ばく線量の推計値との関連を検討します。本研究は、避難地区住民の推計被ばく線量と「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の結果との関係を解析するものです。避難と推計被ばく線量の関連は福島県民が最も知りたい情報の１つであり、世界的にもその解析は注目されています。

【研究の対象となる方】
研究対象者は、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」への参加者です。「こころの健康度・生活習慣に関する調査」は 2011 年次に警戒区域、計画的避難区域、緊急時準備区域に指定された市町村（川俣町、田村市、南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村の全域）及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）に住民登録があった住民の方を対象としました。

【研究の方法】
本研究では、「基本調査」における推計被ばく線量等と「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の社会心理的因子及び生活習慣等などの問診結果を用いて解析します。新規のデータは取得しません。
「こころの健康度・生活習慣に関する調査」で得られた回答をこころの健康度や生活習慣により分類し、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の他の回答内容で、

基本的な集計と統計的な結果を示します。妊娠中のメンタルヘルスや妊娠転帰と、「基本調査」で得られた推計被ばく線量との関連についても、統計的な解析を行い、結果を示します。

【研究組織】

研究責任者

放射線医学県民健康管理センター　センター長　安村誠司

研究分担者

放射線医学県民健康管理センター　健康調査基本部門基本調査・線量評価室
健康調査支援部門　情報管理・統計室　室長
医学部放射線物理化学講座　教授　石川徹夫
放射線医学県民健康管理センター　健康調査支援部門　部門長
医学部疫学講座　教授　大平哲也
放射線医学県民健康管理センター　健康調査県民支援部門　部門長
医学部災害こころの医学講座　教授　前田正治
放射線医学県民健康管理センター　こころの健康度・生活習慣専門委員会
委員（研究）
こころと脳の医学講座　教授　矢部博興
放射線医学県民健康管理センター健康調査県民支援部門　こころの健康度・生活習慣調査支援室　副室長
医学部神経精神医学講座　教授　三浦至
放射線医学県民健康管理センター　こころの健康度・生活習慣専門委員会
委員（研究）
医学部健康リスクコミュニケーション学講座　博士研究員　村上道夫
放射線医学県民健康管理センター　特任講師
別府大学短期大学部　初等教育科　准教授　針金まゆみ
放射線医学県民健康管理センター　こころの健康度・生活習慣専門委員会
委員（業務）
医学部疫学講座　博士研究員　林史和
放射線医学県民健康管理センター　健康調査支援部門　疫学室　講師　長尾匡則
放射線医学県民健康管理センター　健康調査支援部門　疫学室
保健科学部理学療法学科　助教　岡崎可奈子
放射線医学県民健康管理センター　健康調査支援部門
情報管理・統計室、疫学室　准教授　中野裕紀
放射線医学県民健康管理センター　こころの健康度・生活習慣専門委員会
委員（業務）
医学部疫学講座　講師　江口依里
放射線医学県民健康管理センター　こころの健康度・生活習慣専門委員会
委員（業務）
医学部疫学講座　学内講師　舟久保徳美
放射線医学県民健康管理センター　こころの健康度・生活習慣専門委員会
委員（業務）
医学部疫学講座　助教　佐藤志帆
放射線医学県民健康管理センター　健康調査支援部門　疫学室　助教　上田由桂

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295　福島県福島市光が丘１
公立大学法人福島県立医科大学　放射線医学県民健康管理センター

担当　大平哲也
電話: 024-547-1738　FAX:024-547-1244
Ｅ-mail: teoohira@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】
　試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295　福島県福島市光が丘１
公立大学法人福島県立医科大学　放射線医学県民健康管理センター
担当　大平哲也
電話: 024-547-1738　FAX:024-547-1244
Ｅ-mail: teoohira@fmu.ac.jp